

# 原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(令和5年9月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m<sup>3</sup>以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:94)
2. 調査実施時期 令和5年9月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査  
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

## 4. 企業判断指数の算出方法

[ (回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%)) ]  
(最大値100/最小値-100)

## 5. 調査結果(回答工場数:86社 / 回答率:91.5%)

### 【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3
R4.12	-2	-5	-14	-	-	-
R5.3	-	7	0	-10	-	-
R5.6	-	-	26	27	23	-
R5.9	-	-	-	19	26	17

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m<sup>3</sup>)

	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3
当年	181,049	217,366	240,658	-	-	-
(前年)	135,152	159,675	175,044	178,153	181,049	217,366
対前年比	134%	136%	137%	-	-	-

(概況)

原木在庫は引き続き前年を上回る状況。入荷見通しに不安感無いが、製品需要減少により在庫過多との声が多い。

(回答企業の主なコメント)

在庫過剰であり、受け入れ制限なしでは、この状況は続く見通し/原木在庫量を調整した受け入れがしばらく続く/冬季に出材される原木については集荷意欲が出てくると思われる/半年後、原木不足懸念/

### 【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3
R4.12	-47	-66	-63	-	-	-
R5.3	-	-67	-67	-51	-	-
R5.6	-	-	-88	-81	-58	-
R5.9	-	-	-	-85	-78	-64

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m<sup>3</sup>)

	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3
当年	231,299	202,302	204,935	-	-	-
(前年)	249,280	209,572	239,236	239,699	231,299	202,302
対前年比	93%	97%	86%	-	-	-

(概況)

原木消費量は引き続き前年を下回る状況。住宅着工の減少が続く荷動き悪く、回復の見通しが見えない厳しい状況との声も多い。

(回答企業の主なコメント)

住宅着工の減少が続く出荷量の減少が続いている/受注状況が悪く、このまま続けば製材単価にも影響が出てくる/荷動き悪く、好転する兆しもないため厳しい状況が続く予想/住宅、梱包、合板需要総じて低調/

### 【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3
R4.12	-41	-33	-31	-	-	-
R5.3	-	-8	-17	-25	-	-
R5.6	-	-	27	25	10	-
R5.9	-	-	-	27	25	19

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m<sup>3</sup>)

	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3
当年	144,911	195,976	235,805	-	-	-
(前年)	132,958	148,710	155,564	153,818	144,911	195,976
対前年比	109%	132%	152%	-	-	-

(概況)

原木在庫は引き続き前年を上回る状況。製品需要の低迷や合板需要の減少により、在庫過多との声が多い。

(回答企業の主なコメント)

合板材動き悪く原木の在庫増加/価格的な面でも今後とも厳しい見通し/原木の入荷制限を継続中/運材が滞る季節に入るため製品の動きによっては不足感が出てくる可能性あり/

### 【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3
R4.12	-27	-49	-45	-	-	-
R5.3	-	-76	-73	-53	-	-
R5.6	-	-	-90	-86	-50	-
R5.9	-	-	-	-86	-78	-69

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m<sup>3</sup>)

	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3
当年	204,892	181,861	187,550	-	-	-
(前年)	227,049	212,331	220,015	211,953	204,892	181,861
対前年比	90%	86%	85%	-	-	-

(概況)

原木消費量は引き続き前年を下回る状況。梱包材・パレット・ラミナの需要が伸び悩み、製品価格の低下を指摘する声も。

(回答企業の主なコメント)

受注状況がかなり悪く、状況の回復の兆しもない/荷動きが月を追うごとに低調になっていく/ラミナの減産が続いており、先行き不透明/梱包材・パレットの受注が未だに回復せず生産調整が続いている/

# 道内の木材需給の見通し（令和5年9月調査分）

—令和5年10月公表—

北海道水産林務部林務局林業木材課  
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

**原木在庫・製品荷動き** 前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

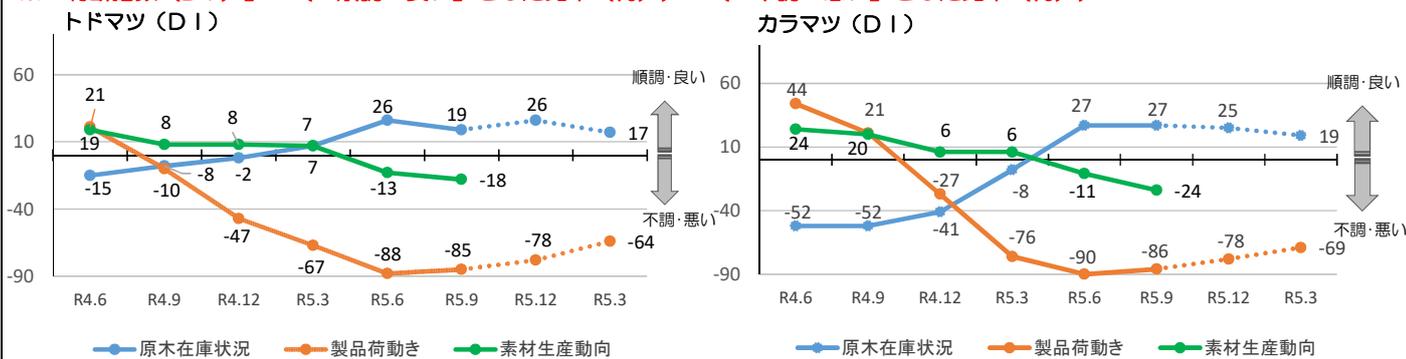
トドマツ	《7~9月》 	《10~3月見通し》 	○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を大きく上回っており、10月以降も前年を上回る見通し。	<b>《凡例》</b> 《原木在庫》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年を下回っており、10月以降も前年を大きく下回る見通し。	
カラマツ	《7~9月》 	《10~3月見通し》 	○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を大きく上回っており、10月以降も前年を上回る見通し。	<b>《凡例》</b> 《製品荷動き》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年を下回っており、10月以降も前年を大きく下回る見通し。	

**素材生産動向** 前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

トドマツ	《7~9月》 	《10~3月見通し》 	○素材生産動向は、「順調」9%、「並み」51%、「不調」40%となっており、不調の見通し。	<b>《凡例》</b> 《順調》 《並み》 《不調》
	《7~9月》 	《10~3月見通し》 	○素材生産動向は、「順調」8%、「並み」46%、「不調」46%となっており、不調の見通し。	

**素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI**  
 ○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数  
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し

※「判断指数（DI）」＝（「順調・良い」とした比率（％））－（「不調・悪い」とした比率（％））

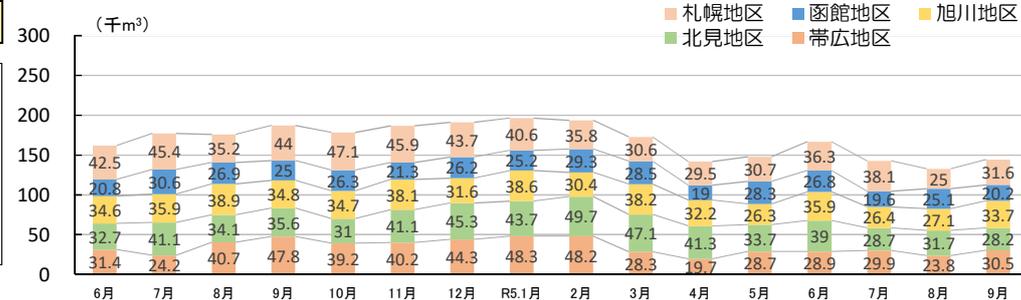


## 《参考情報》

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

### 素材生産量の推移

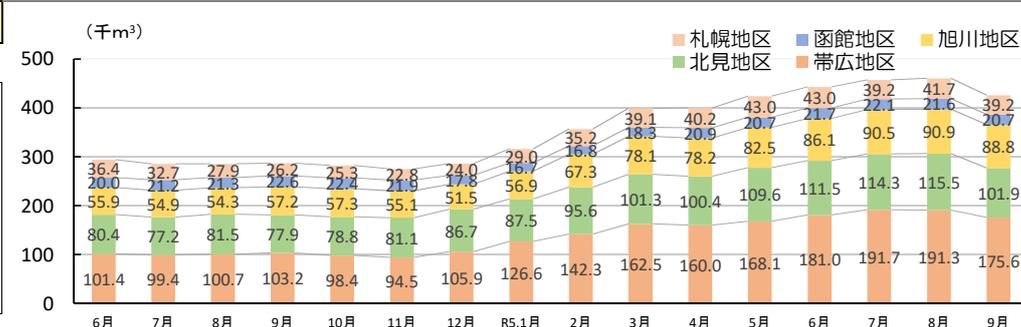
・9月の素材生産量は、前月比11.5千m<sup>3</sup>増の144.2千m<sup>3</sup>  
 ・10月の素材生産量は、7.2千m<sup>3</sup>増の151.4千m<sup>3</sup>の見通しで、旭川地区以外で増える見通し



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

### 製材工場の原木在庫量の推移

・9月のトドマツ原木在庫量は前年同月を上回り、原木消費量は前年同月を下回る見込み  
 ・9月のカラマツ原木在庫量は前年同月を上回り、原木消費量は前年同月を下回る見込み



出典：製材工場動態調査（北海道）による

注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でR5.7~9月は速報値でエゾマツを含む

素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI (地区別)

○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し  
○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

札幌地区 (石狩・空知・胆振・日高)

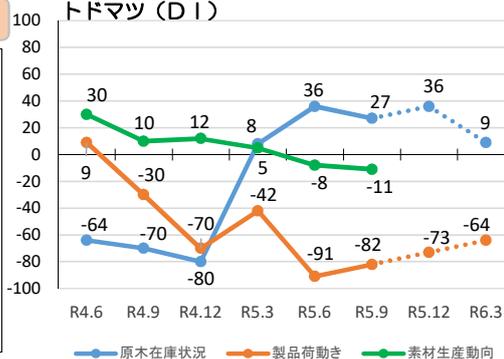
【トドマツ】

- ・素材生産は、引き続き不調の見通し
- ・原木在庫は前年を上回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

【カラマツ】

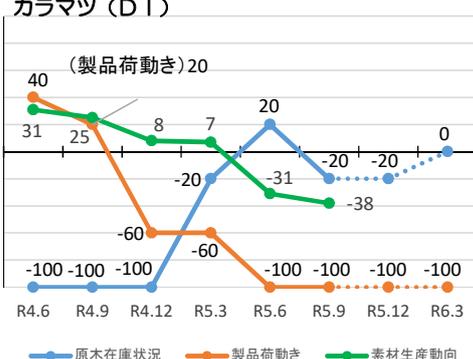
- ・素材生産は、引き続き不調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

トドマツ (DI)



カラマツ (DI)

(製品荷動き)20



函館地区 (渡島・檜山・後志)

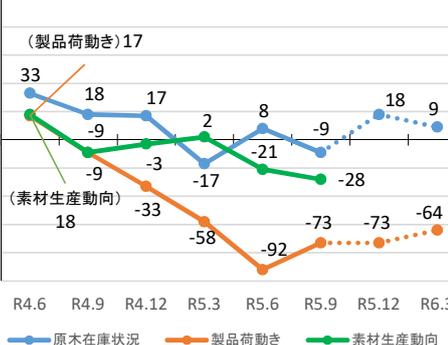
【トドマツ】

- ・素材生産は、引き続き不調の見通し
- ・原木在庫は前年を若干上回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

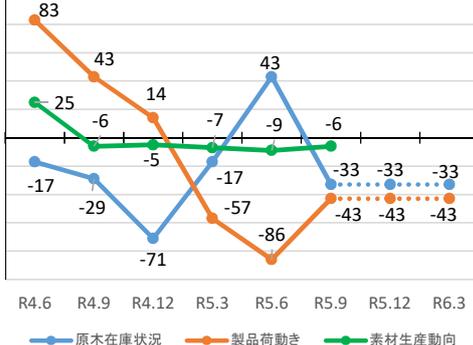
【カラマツ】

- ・素材生産は、引き続き不調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を下回る見通し

トドマツ (DI)



カラマツ (DI)



旭川地区 (上川・留萌・宗谷)

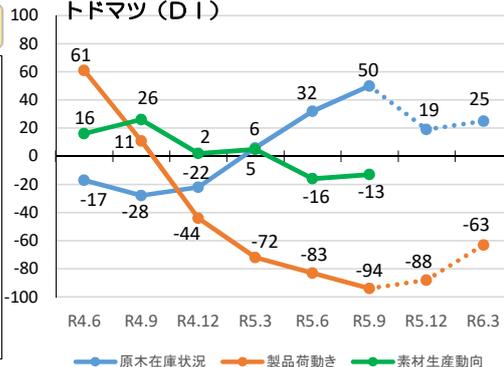
【トドマツ】

- ・素材生産は、引き続き不調の見通し
- ・原木在庫は前年を上回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

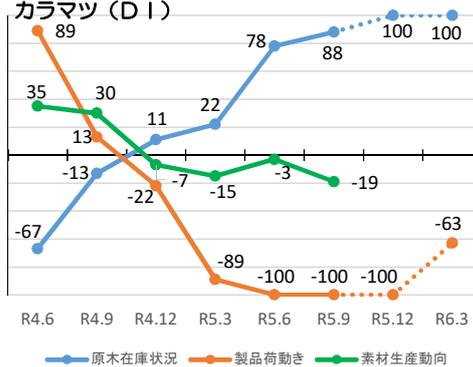
【カラマツ】

- ・素材生産は、引き続き不調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく上回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

トドマツ (DI)



カラマツ (DI)



北見地区 (オホーツク)

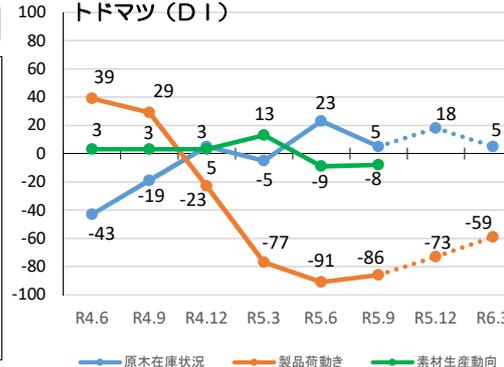
【トドマツ】

- ・素材生産は、引き続き不調の見通し
- ・原木在庫は前年を若干上回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

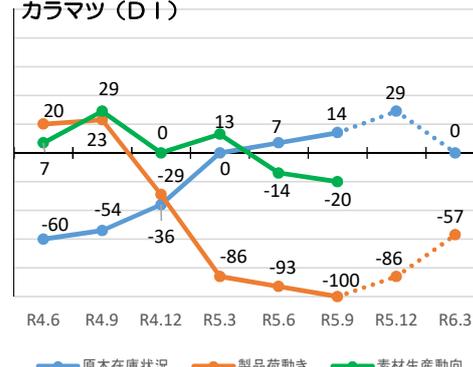
【カラマツ】

- ・素材生産は、引き続き不調の見通し
- ・原木在庫は前年を上回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

トドマツ (DI)



カラマツ (DI)



帯広地区 (十勝・釧路・根室)

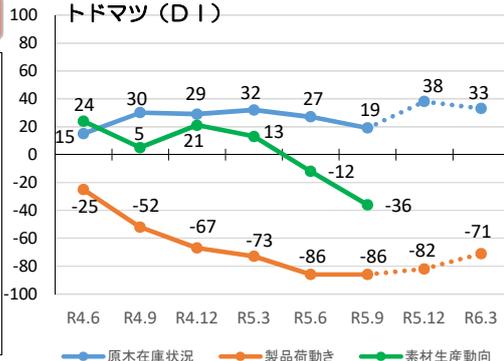
【トドマツ】

- ・素材生産は、引き続き不調の見通し
- ・原木在庫は前年を上回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、引き続き不調の見通し
- ・原木在庫は上回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

トドマツ (DI)



カラマツ (DI)

